



なばり

2017年(平成29年) 5月10日号

主な内容

- 2~3……6月から「がん検診」が始まります
- 4……若者移住定住チャレンジ支援
- 5……住宅用火災警報器
- 7……施設ご利用ガイド、あれっこわい認定
- 8……6月の相談

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

あなたのまちで

活動しています

- ＊「子育て広場」協力
月2〜3回開催される子育て広場には、毎月約20組の親子が参加します。ボランティアの皆さんと一緒に運営を手伝います。
- ＊災害時要援護者台帳の作成
災害時に避難が困難な高齢者世帯などを確認します。
- ＊小・中学校への協力
学校行事へ積極的に参加し、協力しています。
- ＊地域の介護施設支援
施設で開催される各行事のお手伝いをします。
- ＊「こんにちは 赤ちゃん訪問」
赤ちゃんの生まれたお宅に訪問します。相談場所や広場・サロンの紹介、予防接種や制度などを説明し、育児をサポートします。
※主任児童委員の活動
- ＊通学路の安全確保
登下校時の見守りをします。
- ＊「高齢者サロン」への協力
毎月開催される高齢者サロンの名前は「カレー亭」。参加した皆さんの昼食にカレーを振る舞います。
- ＊訪問・見守り・相談
月に1回、約700の高齢者世帯の全てを訪問し、委員が作成した「みんせいだより」を届け、声掛けします。「いつもありがとう」と一言葉をもらうことややりがいを感じます。



くにつつじ地区民生委員児童委員協議会 役員の方皆さん

民生委員・児童委員

地域を見守る、頼れる存在

赤ちゃんから高齢者まで、地域の声に耳を傾け、寄り添い、見守る・支える・つなぐ活動をしているのが民生委員・児童委員の皆さんです。今号では、国津・つつじが丘地域の民生委員・児童委員のさまざまな活動の一部について紹介します。

☎医療福祉総務室 63・7579



つつじが丘地域で15年前に開設した子育て支援「おじゃまる広場」。ボランティアの皆さんとともに運営協力



週2回南中学校を訪問。休みに生徒たちに声を掛け、地域で子どもたちの成長を見守る

民生委員制度は100周年

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、今年で100周年になります。住民の一員として、住民視点に立って安心して住み続けることができる福祉施策を中心とした地域づくりに貢献しています。市でも秋に100周年を記念した事業を実施します。



いつでも気軽に相談ください

民生委員・児童委員は、市内に186人(主任児童委員16人含む)います。高齢者や障害者、子育て世代など地域の皆さんの相談に応じます。厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、任期は3年で無報酬のボランティアです。法律により相談内容などの秘密を守る義務が課せられていますので安心してご相談ください。

地域の皆さんとの信頼関係が大切

国津とつつじが丘地域で、くにつつじ地区民生委員児童委員協議会として26人(主任児童委員含む)が活動しています。高齢者の見守り訪問を中心に、子育て支援など、ほぼ毎日さまざまな地域福祉活動をしています。活動の中で常に地域の皆さんとの信頼関係をいかに築くかを考えています。感謝の言葉やまた来てほしいという依頼がやりがいにつながっています。

民生委員・児童委員のことを理解していただき、次の担い手の育成につなげたいです。

くにつつじ地区民生委員児童委員協議会会長

民生委員・児童委員 池田 允彦 さん(つつじが丘南4)